

# 月刊 かわごえ環境ネット

2020   
 かわごえ環境ネット  
 20周年 持続可能な地球と川越へ→

2021年2月号 No.172

<https://kawagoekankyo.net>

2021年2月2日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

かわごえ環境フォーラム(2月27日)

新訂版『川越の自然』いよいよ出版



かわごえ環境ネット設立20周年記念事業【会場+オンライン】  
 第19回 かわごえ環境フォーラム **2021.2.27** 日 9:30-16:30  
 【事前申込・定員制】ウェスタ川越 2階 会議室1-2 (川越市新町1-17-17, 川越駅西口から徒歩5分)  
 【予約不要】オンライン (YouTube, Webex) 同時配信 ともに無料

● 9:30-12:00 個人・団体の環境活動報告会

● 12:50-14:50 新訂版『川越の自然』出版記念講演会  
**自然と歴史、ともに生きるまち・川越**  
 一里山のよさを回復させる手がかりを見つけよう  
 牧野 彰吾氏 (NPO法人埼玉県絶滅危惧種調査団 代表理事)

● 15:00-16:30 設立20周年記念シンポジウム  
**川越の環境を語る**～これまでの20年とこれからの10年～  
 パネリスト: 小瀬 博之 (かわごえ環境ネット理事長・広報委員長)  
 増田 知久 (副理事長・社会環境部会代表)  
 賀 登 環 (理事長・自然環境部会代表)  
 進行役: 飯島 希 (同理事)

かわごえ環境ネットが設立された2000年8月5日から20年が経ちます。環境におけるこれまでの活動振り返りつつ、これからの川越の望ましい環境像「みんなをつくる、自然・歴史・文化の調和した人環境」を築いていこうと語り合います。

主催：かわごえ環境ネット 後援：川越市  
 協賛：ハイオニア株式会社 武州方ス株式会社 株式会社環境総合研究所 初陽興業株式会社

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場の定員は、事前予約の、50名前後の部それぞれ定員50名の事前申込、申込順の順（日）～の24時（夜）先着とします。なお、会場定員の超過については無断で中止となります。

参加申込・問い合わせ：かわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策推進課環境推進担当）  
 Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyosaku@city.kawagoesaitama.jp  
 かわごえ環境ネット 20周年記念事業ホームページ <https://20th.kawagoekankyo.net>



会場+オンライン同時開催。(詳細 10-11 面)

川越の自然を一冊に凝縮。(詳細 12-13 面)

## 目次

コラム	かわごえ環境 STYLE (7) 川越なるかわ農園 落ち葉堆肥農法.....2
	社会と環境について思うこと (7) 暴走する地球温暖化を止めるために！..... 3-4
	川越の自然をたずねて (94) 巨樹・古木巡り (その2) ..... 4-5
	川越の「宝」をたずねて (20) 田谷堰 (田谷橋) .....6
報告	会員の活動 しめ縄飾りの奉納～新しい年を迎え (NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ) ....7
	理事会・専門委員会 (3 題) ..... 8-9
予告	「第 19 回かわごえ環境フォーラム」2月 27 日開催 ..... 10-11
	新訂版「川越の自然」出版のおしらせ..... 12-13
	かわごえ環境ネットの主催行事 (2 題) ..... 13-14
	会員・関係団体の主催・関連行事 (4 題) ..... 14-15
	広報委員会からのおしらせ.....15
	イベントカレンダー (2月 3 日～4月 3 日) ..... 16



## 【コラム】かわごえ環境STYLE (7) 川越なるかわ農園 落ち葉堆肥農法



落ち葉を集めている雑木林



なるかわ農園の野菜

かわごえ環境ネットで話題にあがることも多いテーマの農業ですが、今回は、循環型農法として知られる落ち葉堆肥農法を実践している川越の農家を紹介します。川越市福原地区で代々農家を営んでいる「なるかわ農園」さんです。なるかわ農園さんは、夏のとうもろこし、冬の里芋を主力とし年間を通じて様々な野菜を生産している専業農家です。川越 Farmer's Market でもお馴染みの農家。野菜づくりは土づくりから始まるという信念のもと、落ち葉堆肥農法に積極的に取り組んでいる農家としても知られます。

平成29年3月14日、農林水産省から日本農業遺産認定を行う地域が発表されました。「武蔵野の落ち葉堆肥農法」は、世界農業遺産への申請は見送りになりましたが、「日本農業遺産」の第1回の認定地域となりました。武蔵野台地に位置する川越市・所沢市・ふじみ野市・三芳町は、火山灰土に厚く覆われた作物が育ちにくい土地でした。この地域では、江戸時代から多くの木を植え、平地林（ヤマ）として育て、木々の落ち葉を掃き集めて堆肥にして畑に入れ、土壌を改良してきました。こうした取組が360年以上にわたり続けられてきた伝統農法を「落ち葉堆肥農法」と呼びます。この「落ち葉堆肥農法」は今も受け継がれており、平地林が各市町全域にその面影を多く残し、育成・管理されて景観や生物の多様性を育むシステムがつけられています。

なるかわ農園の鳴河さんは話します。

「当園の野菜づくりの基本は、日本農業遺産

（実践農家として登録）である落ち葉堆肥での土づくりが土台になります。それをさらに活かすため、有機栽培の土づくり技術を採用しました。自家製の堆肥はもちろん、天然のミネラル資材や酵母・納豆菌などのさまざまな微生物を利用し、より旨味や深みのある野菜づくりを目指しています。」

土づくりがあり、その先の野菜のおいしさは農家の力量です。なるかわ農園さんの里芋は、蓮葉という種類になります。福原地区の里芋は、狭山の堀兼や上赤坂と並び、ブランドと呼ばれる「いるま野里芋」の主力産地です。様々なブランド里芋はありますが、希少価値としての意味合いではなく、いるま野地域の里芋は『色の白さ、キメの細かさ、ねっとりしたなめらかさ』が特徴で、地元のみなさんにとっては身近で普通なものかもしれませんが、実際は、市場はもちろん、高級料亭などでも利用されているように評価の高い野菜です。

「当園の野菜はいわゆる「普通の野菜」です。イタリア野菜のような派手さやインパクトはありません。シンプルな野菜だからこそその違いを感じとっていただければいいなと思っております。就農した18年前にとうもろこしの直売を始めてから『おいしい野菜を届けたい!』との思いで野菜づくりをしてきました。ひとつひとつ丁寧に、そして愛情を込めて栽培した野菜たちをぜひご賞味いただければと思います。」

川越の農家の応援をよろしくお願いします。

（石川真）

## 【コラム】社会と環境について思うこと (7) 暴走する地球温暖化を止めるために！

毎年、洪水被害や、オーストラリアやカリフォルニアの森林火災など、地球温暖化の影響と思われる災害が多発しています。

第二次世界大戦後、石油、石炭により快適な生活を求めて来た結果、大量の温室効果ガス(二酸化炭素-CO<sub>2</sub>-)や、メタンガス-CH<sub>4</sub>-を放出してきました。アマゾンの熱帯林や東南アジアの熱帯林など、緑がCO<sub>2</sub>を吸収してくれている量よりも、また、海水中に吸収されてきたCO<sub>2</sub>も飽和状態にするほど多量に排出してきたのです。このままでは2030年ごろには、とりかえしのつかない状態になるという説もあります。

今立ち止まって、温室効果ガスの排出をいかに少なくするかということをも一人一人が考えて生活する状況だと思います。

産業界は、脱CO<sub>2</sub>に向けて、水素エネルギーや電気自動車、CO<sub>2</sub>回収など新しい産業に向けて開発競争に入っていると思います。

家庭でもCO<sub>2</sub>を出さない生活を心がけること、今私たちにできることを考えてみました。

(1) ガソリン車(ディーゼル車も)はできるだけ乗らない、自転車や公共乗物(電車、バス)を利用

(2) 電気の利用は、

- ① 自然エネルギーの電気を利用(太陽光、風力、バイオガス、水力による発電の電気)
- ② 待機電力を少しでも減らそう

1世帯の年間消費電力量のうち20分の1(5%)が待機電力だそう。その中で1位は、19%のガス温水器(ガス給湯器、ガス給湯つき風呂がまなど)で、テレビ(10%)、冷暖房エアコン(8%)、電話機(8%)、DVDレコーダーなど再生機器(6%)だそう。エアコンは、春秋使用しない時はコンセントを抜き、ガス給湯器は、寝る前に主電源を切るよう努めている。

(3) 生ごみをごみでなく堆肥にしよう

ごみの組成を調べたデータによると、水分が50%を占めているらしい。生ごみは90%以上が水分なので、ごみ組成成分の水分とは生ごみ由

来と考えてよいのではなかろうか。川越市の2019年度の1人1日当たりのごみ排出量は860gだった。生ごみを出さなければ半分になる可能性がある。

そこで家庭で生ごみを処理する方法をいくつか書いてみる。

① 一番簡単な方法は、土の上にばらまき、ぬかや土をふりまいてまぶし、さらにネコなどの被害にあわないよう枯草などで覆っておく方法(もちろん穴を掘って同じようにやってもよい)

② コンポスト、電気生ごみ処理機に入れる  
コンポストを設置する場所は、土を少々掘り、レンガなど置いてモグラの侵入を予防する方がよいと思う。

下の方に落葉(または腐葉土)など水分吸収剤を入れて、生ごみを入れてぬかや土をふりまぜて、これを繰り返し1週間に1度くらい混ぜて空気を入れる。混ぜたあとはしっかり押さえておく。

いっぱいになったら、1~3か月(夏場は早い)放置するとよい堆肥に生まれ変わる。その間もときどきかき混ぜる(生ごみは傷んでないものを入れることが大切)。

コンポストや電気生ごみ処理機に対して川越市は、コンポストは1991(平成3)年から、電気生ごみ処理機は1998(平成10)年から購入者が申請すると助成金を出している。2019(令和元)年度の補助金はコンポスト46基に対し110,420円、電気生ごみ処理機は22基に240,700円助成金として計約35万円支出していた。申請者が少ないのか予算が少ないのか少額なのに驚いた。

③ダンボールを利用して生ごみを堆肥化する  
(「やさしい畑」2019年春号<sup>1)</sup>より)

庭のない人、土にさわりたいくない人にも生ごみを少なくするのによい。

用意するもの

・ダンボール(みかん箱など)、底を二重にする

ためダンボール板1枚、箱を置く台、虫よけカバー（不織布など）、ビニール袋

- ・ココピート 15L
  - ・もみ殻くん炭 10L
1. ココピートともみ殻くん炭を大きなビニール袋で混ぜダンボールに入れる（箱の八分目くらいがよい）
  2. 中央に穴を掘り、生ごみを入れ、ココピートなどをまぶしつける
  3. 虫よけカバーをする（冬の間は必要ないが）。すっぽり覆う。
  4. 空気を入れて発酵促進（生ごみを入れる前によく混ぜ、空気を含ませる）
  5. 約1か月で完熟 生ごみの総重量が50kg（1回500gとして100回）になったら生ごみ投入はストップし熟成期間になる。週に1度、水1Lを加えよく混ぜ、1か月くりかえす。そ

の後、乾燥させると保存がきく。

#### ④雑草もよい肥料分

雑草もごみに出さず、庭のすみに積んでおく。コツは、一番下に茎のかたい枝などを敷き、水分を抜き、酵素が入るところをつくること。その上に積み重ね、米ぬかを振りかけると微生物のはたらきが活発になる。

近くの農家では草が悪者扱いされ、夏の間再々耕運機を動かして畑に土がむき出しになっている。草も緑の植物だから、排出したCO<sub>2</sub>をささやかに吸収してくれているはずだ。むき出した土の中でも、微生物の働きによりCO<sub>2</sub>を発生させている。農家の方にこのことを伝えたい。

（浜尾春子）

#### 参考文献

1) 家の光協会：「やさしい畑」2019年春号（<http://www.ienuo-hikari.net/press/yasai/backnumber/001934.php>）

## 【コラム】川越の自然をたずねて（94）巨樹・古木巡り（その2）

前回（1月号）は、川越市の9か所に天然記念物として指定されている樹木の紹介をしました。これ以外にも、川越市には素敵な樹木がありますからご紹介します。

古木の推定樹齢は伝承によるものが多い中で、明見院のシダレザクラは1779年の本堂庫裏竣工時の古文書に記録が残されていて、それによると樹齢が240年以上となり、その親木は伝承では樹齢が360年以上の中院のシダレザクラとされています。明見院のシダレザクラは台風などの被害で枝が折れ、以前は空を覆うほどの桜花でしたが、今は写真のような姿です。

推定樹齢が360年以上で、幹周り465cmの東明寺のイチョウ（雌木）については、住職の話として南の大イチョウ（出世稲荷のイチョウ、雄木）から花粉が飛んできて銀杏がよく実るとか。根元に前年の銀杏がたくさん落ちていました。イチョウの隣には1546年の北条氏康と上杉朝定の河越夜戦の石碑があります。銀杏の話より合戦の場所が東明寺の寺領だったことが有名ですね。

幹周り6m、推定樹齢400年の三変稲荷神社古墳のムクノキは、どっしりと古墳の上に立っています。この古墳は、4世紀後半の前期古墳で市内最古で、鏡、碧玉製腕輪などが出土しています。

幹周りが468cmのクスノキが川越城富士見櫓跡にあります。この場所は、平城であった川越城には天守閣がないため、3つあった櫓の中で最も高い所であった富士見櫓が天守閣の役割をしていたようです。

幹周りが471cm、推定樹齢が200年の三芳野神社のクスノキは、大枝が台風で折れ、かなり剪定されたようですが、とてもそれを感じさせません。ここは童謡「とうりゃんせ」の発祥の地とされています。

また、2016年（平成28年）に発行された「かわごえの巨樹・古木・名木めぐり」で紹介された巨樹・古木も枯れたり、安全のために枝が落とされたりと、かなりの樹木が姿を変えています。喜多院の名物、三本イチョウは2020年に大きく切られましたが、現在は元気に芽吹いてい

ます。

川越大火で上部が焼けた鴉山稲荷神社のケヤキは、2002年には元気でしたが上半分は枯れてしまいました。それでも、今でも威厳を保っています。

数年前まで元気だった獅子宮氷川神社のケヤキ、灌頂院のサイカチも切り株になりました。どちらも倒れると危ないということで伐採されたそうです。何十年、何百年も生きてきた巨樹・古木にとって今の環境の変化はとても大きいようです。

このシリーズでご紹介した巨樹・古木は、  
・「川越市指定木リスト」川越市文化財保護課  
・「かわごえの巨樹・古木・名木めぐり」川越市環境部環境政策課  
・「小江戸川越 歴史を年輪に刻む巨樹古木たち 寺院・神社 35選」小泉巧、宜保宏著などを参考に選びました。これらの本を参考に記載されている巨樹・古木巡りをされますと、川越の樹木や歴史などに対する思いが深まると思います。

(賀登勉)



明見院のシダレザクラ (今福 677)



東明寺のイチヨウ (志多町 13-1)



川越城富士見櫓跡のクスノキ (郭町 2丁目)



三芳野神社のクスノキ (郭町 2-25-11)



獅子宮氷川神社ケヤキの切り株 (古市場2)



灌頂院サイカチの切り株 (古谷本郷 1428)



三変稲荷神社古墳のムクノキ (小仙波町4-9-5)



喜多院の三本イチヨウ (小仙波町 1-20-1)



鴉山稲荷神社のケヤキ (仲町 10-11)

## 【コラム】川越の「宝」をたずねて (20) 田谷堰 (田谷橋)



田谷堰 (下流側・新赤間川)



田谷橋



田谷堰 (上流側・赤間川)

コラム「川越の「宝」をたずねて」は、かわごえカフェ 2019 のテーマ、「川越(と周辺地域)の宝を掘りおこそう」で参加者のみなさんと作成した「川越のお宝マップ」の地点を紹介していくコラムです。

## 今月のお宝紹介は、「田谷堰 (田谷橋)」

氷川神社の裏を流れる新河岸川を上流に歩いていくと、ひとときわレトロな味わいの田谷堰が姿を現します。田谷橋と一体になった田谷堰は、1938 (昭和 13) 年に農業用水の取水堰として造られました。川をせき止めるための木製の堰は造られて以来 90 年以上もの時をその姿のままに残しています。

木製の堰を見て、その歴史を体感するだけでなく、約 1 世紀もの歴史は、田谷橋の欄干が包絡アーチ状にデザインされた開口部になっていることや「田谷橋」と刻まれた鋳鉄製の銘板などからも感じることができるでしょう。しかも田谷橋の銘板の向かい側にある親柱の銘板には「新赤間川」と刻まれています。「新河岸川」ではなく「赤間川」でもなく、「新赤間川」と刻まれていることが、川と共に生きてきた川越人の歴史を感じてなりません。

赤間川は、入間川笹井ダム (笹井堰) から取水し、伊佐沼に流れる川でした。農業用水路として利水していて、新河岸川とはつながっていない川でしたが、昭和初期に実施された新河岸川の改修事業で赤間川を新河岸川へつなげたことで、新たな河道 (人工水路) である新赤間川が誕生しました。このころは、ちょうど 300 年余り続いた新河岸舟運が終焉を迎えた時期と重

なります。蛇行する新河岸川による洪水被害を防ぐための治水工事でもあり、九十九曲りと称される新河岸川を直線化した河道となっていて、仙波河岸までを新赤間川と当時呼んでいたようです。

1978 (昭和 53) 年に上野田の「新河岸川起点石標」から下流を一級河川「新河岸川」と呼ぶようになりますが、川越の農業を支えていた赤間川と小江戸と江戸を結ぶ舟運が活気に満ちていた新河岸川、この二つの川を結ぶ新たな河道の新赤間川があったことを、この田谷堰と田谷橋が語っているようにも感じ、川越の宝として大切に保存していきたい思いが湧きあがりました。

## 田谷堰へのアクセス

川越市志多町 8-6 付近

東武バス「東明寺橋」バス停より徒歩 4 分、  
小江戸名所めぐりバス「裁判所前」バス停より徒歩 5 分

車でのアクセスは、  
関越自動車道「川越 IC」より 22 分、  
圏央道「川島 IC」より 16 分

(飯島希)



国土交通省荒川上流河川事務所：三ツ又沼ビオトープ



川越の「宝」全データの KML ファイル (ダウンロード)

## 【報告】会員の活動

### しめ縄飾りの奉納～新しい年を迎え

### NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ



カいっばいねじります

#### しめ縄飾りの奉納

創建約1千年の川越八幡宮に、我々かわごえ里山イニシアチブで作ったしめ縄を12月28日に奉納させていただきました。

地元川越は、福田の田んぼで育てた真菰（まこも）の葉100%の完全手編みしめ縄です。最近の機械編みビニール製のしめ縄に比べると、見た目は粗く耐久性も低そうですが、ねじるたびに思いが込められた、素朴で味のあるしめ縄が奉納できたのではないかと満足しています。お近くをお通りの際は気に留めていただけると

幸いです。

#### どんど焼き

年は変わり1月10日は、田んぼにとって最初の行事「どんど焼き」、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の意味でイベントは中止。関係者とその家族たちで執り行いました。

かわごえ里山イニシアチブ代表の増田さんから、会員や地域の方に向けたメッセージと抱負が述べられ、集落の人々の1年間の災いを払い、豊作や商売繁盛、家内安全、無病息災、子孫繁栄など、願いを乗せて勢いよく炎は天に向かって昇りました。

晴れた冬空に昇る炎と田んぼではしゃぐ子供たちがとても印象的で、私も幼いころ、冬の田んぼを走り回り、稲の刈り後を踏んでつぶすのが楽しかったのを思い出しました。

どんどで焼いた焼き芋をほおぼりながら、昔懐かしい田んぼの風景をこれからも継承していきたい、この日はそのように願いました。

(塔筋真一)



ぬらして叩いて下準備



取り付けもひと苦労



宮司さんも満足



子どもたちもお手伝い



勢いよく燃えてます



地域のみなさんとともに

**【報告】理事会・専門委員会****理事会・事業運営委員会**

1月20日(水)9:00-10:00に第9回事業運営委員会、10:00-12:00に第10回理事会を開催しました。両者は関連しているので、合わせて主要な事項を報告します。

**①第19回かわごえ環境フォーラムについて**

2月27日(土)に開催する「第19回かわごえ環境フォーラム」について、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、会場での参加を事前申込した者に限り、午前・午後それぞれの定員を30名としました。また、今後の状況によっては、オンライン配信のみの開催も検討しました。

午前の環境活動報告会の発表者についても、「会場での発表」、「オンラインライブ(Webex)」、「事前録画」、「発表をキャンセル」の4つを設定し、事務局より各発表者の意向を確認することとしました。

ちらしを新訂版「川越の自然」の案内との表裏で1000部印刷して、会員には本紙に同封することにしました(メールサービスの方にはPDFファイルを送信します)。

詳細は本紙10-12面をご覧ください。

**③設立20周年記念出版について**

寄付の最終結果を確認しました。多大な寄付をいただきまことにありがとうございました。冊子の納入は2月上旬の予定で17日(水)に寄付者への配布準備、22日(月)にプレスリリースを行う予定です。

**③今年度の事業報告及び新年度の事業計画について**

各専門委員会に対し、今年度の事業報告と次

年度の事業計画の作成を呼びかけました。

**④第14期川越市環境審議会委員の推薦**

川越市環境政策課より、第14期川越市環境審議会委員1名の推薦依頼があり、前回より継続して、飯島希理事を推薦することとしました。

**⑤会員動向**

個人1名が入会し、1月20日現在の会員数は、個人143、民間団体24、事業者25、行政1の合計193会員となりました。

**⑥その他**

事務局より、1月20日時点の会費未納者に通知文を送ることが提案され、これを承認しました。該当の方にはご負担をおかけしますが、よろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針を1月20日付で改定しました。具体的にはホームページ(<https://kawagoekankyo.net/news/003185.html>)をご覧ください。



新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針(2021年1月20日改定)

2021年度総会を5月22日(土)に実施することにしました。

(小瀬博之)

**社会環境部会**

1月の社会環境部会の例会は、8日(金)に福田ビルにて7名の参加で開催されました。

最初に、12月20日(日)の「歳末まち美化活動」を振り返りました。約1時間半で98本ものたばこの吸いがらを拾ったという話の中では、

たばこのポイ捨て行動がストレスと関係しているのではないか、との指摘がありました。

次に、これからの社会環境部会としての活動についてさまざまな案が提示され、活発な話し合いがなされました。



ここで、いくつかのアイデアを紹介します。

- ・ SDGs (持続可能な開発目標) の普及に向けたワークショップ
- ・ 雑木林や河川を活用したイベント  
森の朗読会や川辺の音楽会などのイベントを開催するというもの。
- ・ 社会環境に関する調査  
自然スポット利用者の社会調査、湧水調査、思い出に残る自然のアンケートなど。
- ・ 新河岸川水系での広域連携の推進
- ・ 市内の公有地を活用した植樹活動への取組

- ・ 社会環境関連の勉強会  
毎月の例会ごとに特定のテーマについてディスカッションし、課題を共有化するもの。
- ・ スタディ・ツアー (継続事業)  
現在の環境が社会的にどう成り立ってきたかや、自然のフィールドと農、都市、暮らし、気候変動、ごみ問題、アートなどの社会のフィールドと関連付けて学び、考察するもの。  
会員の皆様からご意見をお寄せくだされば、幸いに存じます。

(社会環境部会副代表 中村正幸)

## 自然環境部会

1月例会は8日(金)福田ビル3階にて9名の参加で開催されました。

### 1. 活動報告

#### ①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動

12月14日(月)18名参加 川越初雁高校の道路向い側の雑木林の手入れ。周辺は住宅地が広がり、この雑木林はオアシスのような存在。それなのに手入れしているエリアは周りの市民農園などから野菜くずが放棄され荒れていた。川越フォレストクラブと連動してだいぶ片付いた。今回、サイハイラン(絶滅危惧種)が見つかり、春にはオドリコソウが出てくるはず。手入れを続けると埋没種子が出てきたり、本来の豊かな自然を再生できたりします。

②池辺公園定例活動 今回の報告はありません。

③ナラ枯れの報告 Y氏からの情報

- ・ 「(仮称)川越市森林公園」計画地内では、ナラ枯れ36本(感染木も含めて)

・ 市のナラ枯れ対応窓口は農政課。カシノナガキクイムシは森林病虫害等防除法で法定害虫に指定されている。

・ カシノナガキクイムシの個数はまだ少ないと思われるが、放置すると次々と個体数が倍増し、里山の景観、生態系の損失、枯損木による危険性の増大が懸念される。

### 2. 協議事項

#### ①次年度の計画について

雑木林保全再生のための定例活動、生き物調査の継続、コロナ禍で実施可能か不透明だが市民対象の観察会、学校支援など。

②かわごえ生き物調査については、残された50か所ほどのメッシュを完了したい。

③ナラ枯れ被害木への対応について、成虫が出てくる5月ごろに防虫ネットなどで対策を講じたい。

(自然環境部会代表 賀登環)

## 予告の掲載に際して重要なお知らせ

新型コロナウイルスの感染状況により、かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、本会ホームページ(<https://kawagoekankyo.net>)でお伝えします。会員団体等の行事についても、情報が入ればホームページに掲載いたしますが、参加しようとする前に問い合わせ先にご確認ください。

「第19回かわごえ環境フォーラム」2月27日（土）開催

かわごえ環境ネット設立20周年記念事業【会場+オンライン】  
第19回 かわごえ環境フォーラム



2021.2.27 日 9:30-16:30

【事前申込・定員制】ウェスタ川越 2階 会議室1・2 (川越市新宿町1-17-17、川越駅西口から徒歩5分)  
【予約不要】オンライン (YouTube、Webex) 同時配信 ともに無料

① 9:30-12:00 個人・団体の環境活動報告会

② 12:50-14:50 新訂版『川越の自然』出版記念講演会

自然と歴史、ともに生きるまち・川越  
— 里山のよさを回復させる手がかりを見つけよう —

牧野 彰吾氏 (NPO法人埼玉県絶滅危惧植物調査団 代表理事)



自然環境が大きく転換する兆候が現れつつある。今、自然はどうなっているのか、人は自然に対してどのようにむきあえばよいのか、生物多様性の保全が叫ばれている。川越周辺のいくつかの事象をとらえて具体的な変化を追ってみたい、そしてこれから人ほどの方向へ進むべきなのかを考えてみたい。

③ 15:00-16:30 設立20周年記念シンポジウム

川越の環境を語る～これまでの20年とこれからの10年～

パネリスト： 小瀬 博之 (かわごえ環境ネット理事長・広報委員長)  
増田 知久 (同副理事長・社会環境部会代表)  
賀 登 環 (同理事・自然環境部会代表)  
進行役： 飯 島 希 (同理事)



新訂版『川越の自然』の頒布方法、オンライン配信の視聴・参加方法①の詳細を含めた最新情報はこちら

かわごえ環境ネットが設立された2000年8月5日から20年が経ちます。環境におけるこれまでの活動を振り返りつつ、これからの川越の望ましい環境像「みんなで作る、自然・歴史・文化の調和した人と環境にやさしいまち」について語り合います。

主催：かわごえ環境ネット 後援：川越市  
協賛：パイオニア株式会社 武州ガス株式会社 株式会社環境総合研究所 初雁興業株式会社

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場への来場は、①午前の部、②午後の部それぞれ定員30名の事前申込（申込期間3月1日(月)～2月24日(水)先着)とします。なお、感染拡大の状況によっては開催までの開催となります。  
参加申込・問い合わせ：かわごえ環境ネット事務局 (川越市環境政策課環境推進担当)  
Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawago.saitama.jp  
かわごえ環境ネット 20周年記念事業ホームページ <https://20th.kawagoenkankyo.net>



かわごえ環境ネット設立 20 周年記念事業  
第 19 回 かわごえ環境フォーラム  
2021 年 2 月 27 日 (土) 9:30-16:30

主催 かわごえ環境ネット  
後援 川越市

協賛

パイオニア株式会社

武州ガス株式会社

株式会社環境総合研究所

初雁興業株式会社



最新情報は「かわごえ環境フォーラム」ホームページへ  
(<https://forum.kawagoenkankyo.net>)

【会場+オンライン同時配信】:

【事前申込・定員制】ウェスタ川越 2階会議室  
1・2 (川越市新宿町 1-17-17、川越駅西口から徒歩 5 分) 参加無料

【予約不要】オンライン (YouTube、Webex) 同

時配信 参加無料

参加方法の詳細はこの記事の末尾に示します。

【プログラム】

① 9:30-12:00 個人・団体の環境活動報告会

発表予定者とタイトル

1. ふくはら子どもエコクラブ: 活動報告 2020 ふくはら子どもエコクラブ
2. 大久保彦: 第6回川越周辺のキノコ
3. 菊地三生: クリーン活動について
4. 武田侃蔵: 市民の環境活動も 20 年。次の 10 年、草の根の“継続”が待たれる!
5. 丸岡巧美・真鍋豊顕・成川正行: 家庭の省エネ対策とその適用事例
6. 山中和郎: (仮称) 川越市森林公園計画地内における「ナラ枯れ」の感染状況
7. 藤岡重蔵 (NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ): 『かわごえ里山活動報告 2020』～コロナ禍だからこそ! 繋げていこうよ、田んぼと地域と生きものと～
8. 増田知久 (かわごえ環境ネット): 社会環境部会を中心とした活動報告
9. 賀登環 (かわごえ環境ネット): 自然環境部会を中心とした活動報告

※上記発表予定の報告を含む「かわごえ環境活動報告集」は、会場での冊子配布とともに、オンライン視聴者のために、事前に PDF ファイルの配布をかわごえ環境フォーラムホームページで行います。

② 12:50-14:50 新訂版『川越の自然』出版記念講演会

『自然と歴史、ともに生きるまち・川越 — 里山のよさを回復させる手がかりを見つけよう —』

講師：牧野彰吾氏 (NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物調査団 代表理事)

主旨：自然環境が大きく転換する兆候が現れつつある。今、自然はどうなっているのか。人は自然に対してどのようにむきあえばよいのか。生物多様性の保全が叫ばれている。川越周辺のいくつかの事象をとらえて具体的な変化を追ってみたい。そしてこれから人ほどの方向へ進むべきなのかを考えてみたい。

※当日は、会場において新訂版『川越の自然』を有料頒布します。

③ 15:00-16:30 設立 20 周年記念シンポジウム  
『川越の環境を語る ～これまでの 20 年とこれからの 10 年～』

パネリスト：小瀬博之（かわごえ環境ネット理事長・広報委員長）、増田知久（同副理事長・社会環境部会代表）、賀登環（同理事・自然環境部会代表）、進行役：飯島希（同理事）

主旨：かわごえ環境ネットが設立された 2000 年 8 月 5 日から 20 年が経ちます。環境におけるこれまでの活動を振り返りつつ、これからの川越の望ましい環境像「みんなでつくる、自然・歴史・文化の調和した人と環境にやさしいまち」について語り合います。

【参加方法の詳細】

A. 会場（ウェスタ川越）での参加

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場への来場は、①午前の部、②③午後の部それぞれ定員 30 名の事前申込 [申込期間 2 月 24 日（水）まで先着] とします。なお、感染拡大の状況によっては無観客での開催となることをあらかじめご了承ください。

参加申込・問い合わせ：かわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策課環境推進担当）

Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

B. YouTube ライブへのアクセス



午前の部「個人・団体の環境活動報告会」  
<https://youtu.be/NDjH6guk14>



午後の部「設立 20 周年記念出版・講演会／シンポジウム」  
<https://youtu.be/EKaDeZLX3d4>

新型コロナウイルス感染対策のため、会場への来場を制限しています。オンラインで視聴できる方はできるだけオンラインで視聴をお願いいたします。YouTube ライブは、質問等ができません。

気軽に視聴したいという方はこちらをご利用ください。

C. Webex での視聴（質問等をされたい方）



「第 19 回かわごえ環境フォーラム」Webex ミーティング  
<https://bit.ly/3j1dslr>

Webex ミーティングは、Webex アプリを使って双方向での接続が可能となり、質問等ができます（主催者の許可が必要となります）。当日の参加したい時間に上記のページにアクセスしてください。午前・午後共通のリンクです。次の手順となります。

①上記のアドレスにブラウザでアクセスします。

②【Webex を初めて使用する場合】PC の場合は Cisco Webex Meetings デスクトップアプリ、スマートフォンの場合はモバイルアプリのダウンロード、インストールが必要となるので、インストールします。PC の場合はブラウザから参加することもできます。

③ [同意する] ボタンを押します。

④プレビュー画面で「マイク」をミュート、「ビデオ」（カメラ）を停止して（どちらもアイコンが赤色の状態で）参加します。

※②の手順を省略するために、事前に Webex テストミーティングにアクセスして、接続に必要なシステムの設定やマイク、ビデオのテストをしておくスムーズにつながります。なお、名前と電子メールアドレスの入力が必要ですが、アカウントの登録は不要です。



Webex テストミーティング

<https://www.webex.com/ja/test-meeting.html>

※上記の手順は慣れていないと手間がかかるので、YouTube で接続することをおすすめしますが、トラブル等で YouTube ライブでの配信ができない場合は、Webex のみでの接続の可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

新訂版『川越の自然』出版のお知らせ (かわごえ環境ネット設立20周年記念出版)

かわごえ環境ネット設立20周年記念出版

新訂版  
**川越の自然**  
-雑木林・河川・公園・湧水・社寺林を訪ねて-

「川越の自然」を探しに行きましょう、ステキな景色や生き物が待っています!!  
ここは森の中。周りは樹がいっぱい 高い樹の梢から太陽がまぶしい 地面は知らない草花があちこちに。夏にはカブトムシやクワガタがいてセミしぐれもうるさいほどらしい。ここは広い河原。釣りをしている人がいる アユもいるらしい 首の長い大きな白い鳥 ダイサギかな。川沿いにいっぱい樹があって 鳥の声が聞こえる。ここはオオタカなどの猛禽類が何種類かいるらしい。もっと下っていくと川が何本も集合している。さすが川越。  
この続きの散歩は新訂版「川越の自然」どうぞ!!



2021年2月27日発行

編集:かわごえ環境ネット「川越の自然」編集委員会  
発行:かわごえ環境ネット  
公益財団法人サイサン環境保全基金助成

判型:A5判 180ページ フルカラー  
頒価:700円

領布・問い合わせ  
かわごえ環境ネット事務局  
(川越市環境政策課環境推進担当)  
Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800  
kankyoisaku@city.kawagoe.saitama.jp

内容の詳細や頒布方法など最新情報は  
かわごえ環境ネット20周年記念事業ホームページ  
<https://20th.kawagoekankyo.net>



2020  
かわごえ環境ネット  
20周年 持続可能な地球と川越へ

かわごえ環境ネット設立20周年記念出版

新訂版

**川越の自然**

-雑木林・河川・公園・湧水・社寺林を訪ねて-

「川越の自然」を探しに行きましょう、ステキな景色や生き物が待っています!!

ここは森の中。周りは樹がいっぱい 高い樹の梢から太陽がまぶしい 地面は知らない草花があちこちに。夏にはカブトムシやクワガタがいてセミしぐれもうるさいほどらしい。ここは広い河原。釣りをしている人がいる アユもいるらしい 首の長い大きな白い鳥 ダイサギかな。川沿いにいっぱい樹があって 鳥の声が聞こえる。ここはオオタカなどの猛禽類が何種類かいるらしい。もっと下っていくと川が何本も集合している。さすが川越。

この続きの散歩は新訂版「川越の自然」でどうぞ!!

【基本情報】

2021年2月27日発行  
編集:かわごえ環境ネット「川越の自然」編集委員会  
発行:かわごえ環境ネット  
公益財団法人サイサン環境保全基金助成  
判型:A5判 180ページ フルカラー  
頒価:700円

【目次】

<b>第1章 川越のあらまし</b>
1. 川越の自然環境の特徴
2. 水と緑・生き物の環境
3. 川越の自然ポイントマップ
<b>第2章 武蔵野の雑木林</b>
1. 「(仮称)川越市森林公園」計画地
コラム 下松原地区のアカマツ林
2. 市民の森第1号
3. 市民の森第7号
4. 市民の森第8号
5. 市民の森第6号
6. 市民の森第9号
7. ふるさとの緑の景観地
コラム 雑木林のクヌギの樹液にやってきた昆虫
8. 東洋大学川越キャンパス
コラム 川越における「ナラ枯れ」の発生
9. くぬぎ山
10. 大堀山館跡
11. 雑木林の遊びかた
<b>第3章 川越の河川・沼</b>
1. 荒川流域
2. 入間川流域
3. 小畔川流域
4. 新河岸川流域
5. 寺尾調節池周辺
6. 不老川
コラム 不老川 ちょっと昔のアルバム
7. 伊佐沼
8. 三ツ又沼ビオトープ
9. 川の遊びかた
<b>第4章 川越の公園と緑地</b>
1. 川越水上公園
2. 安比奈親水公園
3. 池辺公園
4. 川越運動公園
5. なぐわし公園
6. 小畔水鳥の郷公園
7. 御伊勢塚公園
8. 古谷湿地
9. 山王塚古墳
<b>第5章 湧水</b>
1. 小堤・八幡神社の湧水

2. 小仙波・龍池弁財天の湧水
3. 仙波河岸史跡公園
4. 下新河岸・日枝神社の湧水
5. 霞ビオトープ
<b>第6章 社寺林 巨樹・古木巡り</b>
1. 喜多院
2. 中院
3. 川越八幡宮
4. 尾崎神社
5. 巨樹・古木巡り
コラム 川越周辺の自然豊かなところ 坂戸市城山
<b>第7章 生き物の調査記録</b>
1. 川越のチョウ
2. 川越のトンボ
3. 川越の昆虫
4. 田んぼの自然
<b>第8章 ミニ図鑑</b>
1. 植物
2. 昆虫以外の動物いろいろ
3. 魚類・水生動物
4. 野鳥
コラム コチドリ三態
コラム 伊佐沼の珍鳥
<b>第9章 統計類</b>
1. 植物
2. 昆虫
3. 野鳥観察記録
<b>第10章 かわごえ環境ネット設立20年のあゆみ</b>
あとがき
索引

環境フォーラム」において頒布します。

②川越市役所本庁舎5階環境政策課窓口

3月1日より窓口において頒布します。

③郵送

問い合わせ先に希望冊数、送付先の住所、氏名、連絡先（メール、電話等）の情報をお知らせいただくとともに、冊数分の頒価と郵送料（詳細につきましては3月号でお知らせいたします）を含めて必要な金額を下記口座に送金してください（送料（手数料）は自己負担となります）。

[口座番号 00180-2-13880(ゆうちょ銀行以外から振り込む場合は、ゆうちょ銀行 〇一九支店 当座 0013880),加入者名:かわごえ環境ネット]

【頒布・問い合わせ先】

かわごえ環境ネット事務局（川越市環境政策課 環境推進担当）

Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800

kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

【内容の詳細や頒布方法などの最新情報】

かわごえ環境ネット 20周年記念事業ホームページをご覧ください。



<https://20th.kawagoekankyo.net>

【頒布方法】（頒価 1冊 700円+送料）

①第19回かわごえ環境フォーラム(2月27日)

2月27日(土) 9:30-16:30 にウェスタ川越 2階会議室1・2で開催される「第19回かわごえ

**【予告】かわごえ環境ネットの主催行事**

自然環境部会主催事業

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動(毎月第2・第4月曜日)

日時:2月8日・22日,3月8日・22日(月)  
9:30-12:30

集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

問い合わせ:賀登(Tel.049-234-9366)

★池辺公園定例活動(毎月第2火曜日、変更の場合もあります)

日時:2月9日,3月9日(火) 9:00-12:00

場所:池辺公園(川越市池辺1302)

問い合わせ:賀登(Tel.049-234-9366)

会合

◆広報委員会(2021年2月度)

日時:2月3日(水) 9:00-9:30

オンラインミーティング(委員には別途案内)

\*次回は3月3日(水) 9:00-9:30 オンラインミーティング

●社会環境部会 (2021年2月度)

日時: 2月12日(金) 13:00-15:00

場所: 福田ビル3階会議室(川越市郭町1-2-3)

\*次回は3月12日(金) 13:00-15:00 同所

\*会員はどなたでも参加できます。

●自然環境部会 (2021年2月度)

日時: 2月12日(金) 15:00-17:00

場所: 福田ビル3階会議室

\*次回は3月12日(金) 15:00-17:00 同所

\*会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会 (2020年度第10回)

日時: 2月17日(水) 9:00-10:00

場所: 福田ビル3階会議室

\*次回は3月24日(水) 9:00-10:00 場所未定

◆理事会 (2020年度第11回)

日時: 2月17日(水) 10:00-12:00

場所: 福田ビル3階会議室

次回は3月24日(水) 10:00-12:00 場所未定

【予告】 会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ: 増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

当会では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して環境にやさしいお米作りをしながら田園風景の保全や地域づくりを行っています。入会は随時受け付けております。hatsukarinosato@googlegroups.com にお問い合わせください。



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

◎マコモ成分分析研究勉強会

日時: 3月20日(土) 13:30~16:30

場所: ウェスタ川越2階活動室1

日本薬科大学による川越産マコモ成分分析の中間発表と同大教授による講演を行います。講演タイトルは「漢方から見るコロナ禍における免疫機能UPの処方箋(仮題)」です。

◎田んぼ懇談会

日時: 3月27日(土) 16:00-18:00

場所: 未定

定員: 会員、非会員、どなたでも参加可能です

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ: 渡辺利衛 (Tel&Fax.049-242-4322)・武田侃蔵 (Tel.090-2521-5770)

◎「やめましょう!歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3金曜日

日時: 2月19日(金), 3月2日(火)・19日(金) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時: 2月14日・3月14日(日) 9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でゴミまとめ、解散。

③第4土曜日

日時: ~~2月27日~~(中止)・3月27日(土) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日 9:00より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田(090-2521-5770)へご連絡ください。

①2月28日(日) 9:00-11:00 新河岸川中流域

貝塚橋右岸横集合。田島橋まで両岸に沿って

ごみ拾いと河道の観察。収集管理に連絡した近くの空き地に集合、分別して解散。

防のごみ拾い。いつもの旭橋左岸空き地にごみ集めて分別、11時解散。

②3月28日(日) 9:00-11:00 新河岸川下流域

川崎橋左岸わきに集合。旭橋に向けて両岸堤

松岡壽賀子(社会環境部会)

問い合わせ：高階南公民館(Tel.049-245-3581)

◎かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」

会場：高階南公民館 1階(川越市藤原町 23-7)

参加費：無料

かんきょうサロンでは参加された方みなさんと環境や暮らし方、家族の健康について井戸端会議のようにお話ししています。1人でも多くの人が動いたら、減災・防災につながります。

①2月4日(木) 13:00-15:00 マイ箸袋作りを中心(中止)

②3月15日(月) 13:00-15:00 冷暖房について公共料金…電気代や水道料金の節約についての話をしています。

持ち物：直近2~3か月分の電気・ガス・水道の料金票

\*日程等は諸事情により変更・中止になる場合があります。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野(Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡(Tel.090-7003-8617)

◎伊佐沼でバードウォッチング

(毎月第2日曜日、雨天中止)

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

①2月14日(日) 10:00-12:00

一番寒い時期です。沼は凍って氷の上で、カ

モのおもしろい行動が見られます。葉の落ちた公園で冬鳥を観察します。

②3月14日(日) 10:00-12:00

冬鳥たちと今月でお別れです。元気に旅立つことを祈りましょう。北に帰る珍しい鳥が立ち寄るかもしれません。

## 広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受け付けています

2021年3月号(No.173, 3月2日発行予定)の掲載原稿は、2月15日(月)締切(必着)です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出してください。

○おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会

の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

## イベントカレンダー (2月3日~4月3日)

新型コロナウイルスの感染状況によりかわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、情報が入り次第本会ホームページでお伝えします。会員団体等の行事は主催者にご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展イベント ●：会員全員が対象の部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください			2.3 ◆9:00 広報委員会	2.4 ◎13:00 <del>かんきょうサロン</del> (中止)	2.5	2.6
2.7	2.8 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	2.9 ★9:00 池辺公園定例活動	2.10	2.11 建国記念の日	2.12 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	2.13
2.14 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召びわくウォッチング	2.15 ○本紙3月号投稿期限	2.16	2.17 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	2.18	2.19 ◎13:30 まち美化啓発運動	2.20
2.21	2.22 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	2.23 天皇誕生日	2.24	2.25	2.26	2.27 ★9:30 かわごえ環境フォーラム ◎13:30 <del>まち美化啓発運動</del> (中止) ○新訂版「川越の自然」発行
2.28 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	3.1	3.2 ◎13:30 まち美化啓発運動	3.3 ◆9:00 広報委員会	3.4	3.5	3.6
3.7	3.8 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	3.9 ★9:00 池辺公園定例活動	3.10	3.11	3.12 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	3.13
3.14 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召びわくウォッチング	3.15 ◎13:00 かんきょうサロン ○本紙4月号投稿期限	3.16	3.17	3.18	3.19 ◎13:30 まち美化啓発運動	3.20 春分の日 ◎13:30 マコモ成分分析研究勉強会
3.21	3.22 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	3.23	3.24 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	3.25	3.26	3.27 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎16:00 田んぼ懇談会
3.28 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	3.29	3.30	3.31	4.1	4.2	4.3